

佐賀大学海洋エネルギー研究センター

令和2年度共同利用研究課題公募要領

佐賀大学海洋エネルギー研究センターは、海洋エネルギーとその複合利用分野に関する研究と教育に取り組んでいます。平成29年10月から、センターには、海洋エネルギーを創造するための基礎的応用研究を主目的とする「海洋熱エネルギー部門」「海洋流体エネルギー部門」と海洋エネルギーの利用などに関連する研究開発分野を主目的とする「学際部門」の3部門を設けております。当センターでは、海洋エネルギーに関する共同利用・共同研究拠点の事業として共同研究課題の募集を行います。

I. 海洋熱エネルギー部門

- ・海洋温度差エネルギー分野
- ・海水淡水化分野
- ・海洋深層水利用分野

II. 海洋流体エネルギー部門

- ・波浪エネルギー分野
- ・潮流・海流エネルギー分野
- ・洋上風力エネルギー分野

III. 学際部門

- ・海洋エネルギー環境情報分野
- ・海洋エネルギー貯蔵分野
- ・海洋エネルギー制御分野
- ・海洋エネルギー物質創成分野
- ・海洋エネルギー人材育成分野

令和2年度は、「特定研究」及び「その他共同研究・利用」にて募集しますのでご応募ください。

1. 公募事項：

次のいずれかに該当する研究で、センターの研究者が参画することを原則とします。

※申請書作成において、特定研究A、B、C、D、その他共同研究・利用のいずれかを選択し、更に研究費申請の有無を選択して下さい。

区 分	内 容
特定研究A	センターが注力している海洋温度差発電に関するもの
特定研究B	センターが注力している波力発電に関するもの
特定研究C	センターが注力している潮流発電に関するもの
特定研究D	センターが注力している洋上風力発電に関するもの
その他共同研究・利用	上記4分野に直接関連しない、その他海洋エネルギーに関するものや、その他共同利用設備に関するもの

(1) 特定研究

「特定研究」は、あらかじめ設定された4分野のテーマに関して参加者を募り、当センター内の研究者と共同で行う研究です。令和2年度は、以下のテーマで募集します。

特定研究A 海洋温度差発電に関する研究

当センターでは、アンモニア系や環境に優しい代替フロンなどの有機媒体を用いた海洋温度差発電システムの高性能化及びその実証的研究を行っています。作動流体の特性を利用して、熱交換器の高性能化を実現することが重要な研究課題となっています。これによってサイクル全体の熱効率改善が期待されます。今回は、海洋温度差発電用熱交換器、低熱源温度差発電(廃熱発電、ORC サイクルなど)用熱交換器等、海洋温度差発電全般に関する基礎的応用的研究を広く募集します。

特定研究B 波力発電に関する研究

近年、世界各所で、新型の波力発電装置が提案され、実用化を目指した研究が急ピッチで行われています。当センターにおいても、我が国の波力発電装置の実用化を目指し、波力発電装置に関する研究を平成17年度にスタートさせ、主に、浮体式の波力発電装置に関する研究開発を実施しています。今回、波力発電に関して、従来型の一次変換装置、二次変換装置の高度化、新型装置の提案等に関する研究テーマを広く募集します。

特定研究 C 潮流発電に関する研究

潮流発電には、水平軸型プロペラ式、鉛直ダリウス型等、様々な方法があります。また、設置方式に関しても、浮体式や海底設置式などがあります。現在、潮流発電に関する研究開発が世界中で精力的に行われています。当センターにおいても、平成26年度に、潮流発電の実験を行うための回流水槽を新設するとともに、潮流発電装置の開発をスタートさせました。今回、潮流発電に関する新型装置の提案、回流水槽を利用した模型実験等に関する研究テーマを広く募集します。

特定研究 D 洋上風力発電に関する研究

洋上風力発電は、今後、世界的に、大きな需要が期待されています。我が国においては、現在、浮体式洋上風力発電に関する実証機が実海域に設置され、複数基を設置する洋上風力発電ファーム建設の計画も発表されています。当センターにおいても、平成29年度から、浮体式洋上風力発電に関する研究をスタートしました。今回、洋上風力発電に関する新型装置の提案等に関する研究テーマを広く募集します。

(2) その他共同研究・利用

その他共同研究・利用 センター主要4分野(「特定研究」)以外に申請者が設定した研究テーマを募集します。

当センターが所有する実験機器等の現状、仕様などは当センターのホームページに掲載されています。 http://www.ioes.saga-u.ac.jp/jp/collabo/collabo_facilities_list

各研究課題については、1件につき40万円を上限として研究経費を支援しますので、希望する場合は、申請書様式のⅧに必要事項を記入ください。なお、申請する研究経費には、謝金、旅費を含まず、消耗品と備品です。備品は、センター所有として管理します。旅費については、調整のうえ、別途、予算の範囲内で支援します。

なお、令和元年度の研究経費の総額は、3,300千円でした。

2. 応募資格：

大学及び公的研究機関の研究者、またはこれらに準ずる研究者、並びに当センター長が適当と認めた者とします。

3. 応募方法：

申請に当たっては、**センター世話人**と事前に研究テーマ、研究内容等について十分に協議を行ってください。各課題にはセンター世話人が付き、申請者（課題代表者）の方と連絡ほか相談にあずかります。センター世話人は、センターの専任、併任の教員を対象に、申請者の方に考えていただくものですが、**適当なセンター世話人が不明な場合は、センター世話人（表1）に相談ください。**

申請は、申請書(様式1、ホームページ以下のURLからダウンロードできます)に必要な事項を記入の上、下記の宛先まで郵送ください。その際、センター世話人名を必ず記入してください。また、封筒に「申請書在中」と朱記願います。なお、応募の方法等に関して不明な点がありましたら、下記の電子メール宛に問い合わせてください。

申請書：http://www.ioes.saga-u.ac.jp/jp/collabo/collabo_apply

[宛先・問合せ先]

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1番地

佐賀大学海洋エネルギー研究センター共同利用担当 野口

E-mail: collabo@ioes.saga-u.ac.jp

(注) メールの題名を「共同利用」として下さい。

TEL: 0952-28-8880

FAX: 0952-28-8883

4. 研究期間：

採択課題の研究期間は、採択日から令和3年3月31日までです。

5. 応募締切：

研究費を申請しない研究については、随時受け付けています。

研究費を申請する研究につきましては、令和2年2月3日（月）必着とします。

6. 選考：

当センター協議会で審議・選考のうえ、採択課題を決定します。

7. 採否の通知：

令和2年4月中旬までに、申請者宛に連絡します。

8. 成果報告等：

研究費の配分を受けた採択者は、研究期間終了後3ヶ月以内に共同利用研究成果報告書を提出してください。

なお、当センターが主催するシンポジウムで共同利用研究成果の発表を行っていただくことがあります。また、提出された成果報告書は、海洋エネルギー研究センター報告（年報）に掲載させていただきます。

【表1】 共同利用研究 センター世話人

部門	世話人	電話番号	メールアドレス
海洋熱エネルギー部門	池上 康之	0952-20-4744	ikegami@ioes.saga-u.ac.jp
海洋流体エネルギー部門	永田 修一 (波浪エネルギー分野)	0952-28-8477	nagata@ioes.saga-u.ac.jp
	木上 洋一 (潮流・海流エネルギー分野)	0952-28-8609	kinouey@cc.saga-u.ac.jp
	石田 茂資 (洋上風力エネルギー分野)	0952-28-8584	ishida@ioes.saga-u.ac.jp
学際部門	奥村 浩 (海洋エネルギー環境情報分野)	0952-28-8568	okumurah@cc.saga-u.ac.jp
	光武 雄一 (海洋エネルギー貯蔵分野)	0952-28-8616	mitutaky@cc.saga-u.ac.jp
	後藤 聡 (海洋エネルギー制御分野)	0952-28-8643	goto@cc.saga-u.ac.jp
	大渡 啓介 (海洋エネルギー物質創生分野)	0952-28-8584	ohtoh@cc.saga-u.ac.jp
	角 和博 (海洋エネルギー人材育成分野)	0952-28-8374	sumik@cc.saga-u.ac.jp

共同利用研究の成果を学術雑誌等において発表される場合には、本センターとの共同利用研究に基づくものであることを次のように付記いただくと共に、該当論文・報告等の別刷りまたは写し一部を提出いただきます。

和文の場合：佐賀大学海洋エネルギー研究センター共同利用研究（採択番号）

英文の場合：This study was performed under the Cooperative Research Program of IOES, Institute of Ocean Energy, Saga University. (Accept #)